



東京園芸ニュース (28年度-33号)

平成28年8月 / 群馬県東京園芸情報センター

国内外から200社超の出展！ ～施設園芸・植物工場展～

施設園芸・植物工場展

- 日時：7月27日(水)～7月29日(金)
- 会場：東京ビックサイト 東5・6ホール
- 主催：一般社団法人 日本施設園芸協会
- 内容：施設園芸や植物工場設備の展示や各種セミナー

■収量増加や防除技術等の展示

第4回目の施設園芸・植物工場展が東京ビックサイトで開催されました。今回は、200社を超す出展者が、収量増加や品質向上をもたらす資材をはじめ環境制御システム、省力化機器、防除技術などを展示、発表しました。

また、主催者セミナーは、生産者から栽培・経営の実例紹介、研究者から IPM や病害虫防除対策、アメリカおよび世界の植物工場最新情報等が3日間にわたって発表されました。

■天敵利用日本一！

特別セミナー「病害虫対策」では、土着天敵の研究が進んでいる高知県の天敵利用の現状について、病害虫専門技術員の中石一英氏から発表がありました。また、高知県では行政も天敵の利用推進のため、土着天敵タバコカスミカメの天敵温存ハウスの補助(1/3)を実施しています。

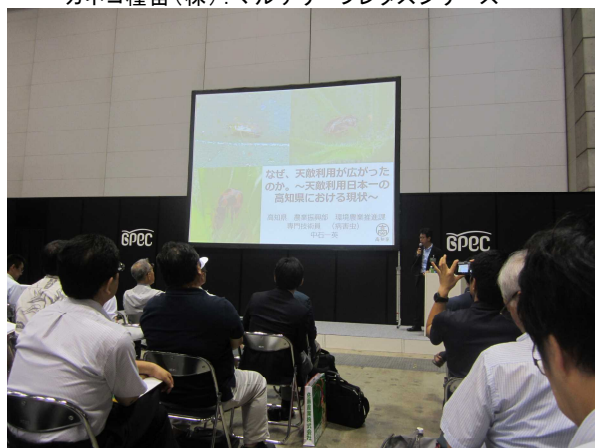
天敵を用いる大きな利点は、農薬の使用回数が少なくなり、防除時間が70%削減され、時間や気持ちに余裕ができることです。課題としては、農薬散布が少なくなることで病害の発生が多くなることです。そこで、病害に対する IPM として、湿度コントロールや緑色 LED 等の農薬に頼らない栽培体系の検討がされています。



カネコ種苗(株)：マルチリーフレタスシリーズ



石原バイオサイエンス(株)：天敵保護装置「バンカーシート」



特別セミナー：天敵利用日本一の高知県における現状



渡辺パイプ(株)：イチゴ養液システム